

小学校第2学年 道徳科 学習構想案（例）

日 時 令和〇年〇月〇日（〇）第〇校時
場 所 〇年〇組教室
指導者 教諭 〇〇 〇〇

1 学習構想

主題名	やるべきことをしっかりと（内容項目A(5)希望と勇気・努力と強い意志）	
ねらいと教材	(1)ねらい 北里柴三郎が拭き続けた縁側を見つめながら、どんなことを考えていたのか話し合うことを通して、自分のやるべき勉強や仕事をしっかりと行おうとする心情を養う。 (2)教材名 「光るえんがわ」 出典「くまものところ 小学校1・2年(熊本県教育委員会)」	
評価の視点	評価の視点 1	評価の視点 2
	縁側でじっと見つめている北里柴三郎の気持ち等を多面的・多角的に考えている。	北里柴三郎の生き方を自分自身と重ねながら、やるべきことをしっかりと行うことの大切さについて考えている。
目指す児童の姿		
自分のやるべき勉強や仕事をしっかりと行おうとする児童		
主題に迫る学習課題（本時）	本主題で働かせる見方・考え方	
自分がやるべきことをしっかりと行うよさって何だろう。	北里柴三郎の思いについて多面的・多角的に考えることを通して、自分のやるべきことはしっかりとやることの大切さを理解し、今後の自己の生き方について考えを深めていくこと。	
内容項目相互の関連的・発展的な指導、各教科等や体験活動等との関連的指導		
特別活動・日常活動	道徳科	教科等
【特別活動】 「二年生になって」 「めあてをきめよう」 「運動会」 「持久走大会」 【日常活動】 「当番活動」 「掃除の仕方」 「係りを決めよう」 「家庭学習」 「愛校作業」等	「光るえんがわ」【本時】 A(5)希望と勇気・努力と強い意志 主題名:やるべきことをしっかりと 北里柴三郎が拭き続けた縁側を見つめながら、どんなことを考えていたのか話し合うことを通して、自分のやるべき勉強や仕事をしっかりと行おうとする心情を養う。 「ぼくは『のび太』でした-藤子・F 不二雄」 (出典:新しいどうとく2 東京書籍) A(5)希望と勇気・努力と強い意志 主題名:あきらめないで	生活 「あしたへジャンプ」 算数 「九九を作ろう」 国語 「二年生をふりかえって」 「スーホの白い馬」 体育 「なわとび」

2 主題設定の理由

学習指導要領における該当箇所（ねらいや指導内容についての教師の捉え方）
本主題は、小学校第1学年及び第2学年内容項目A（5）「自分のやるべき勉強や仕事をしっかりと行うこと」に関する内容項目である。 低学年の児童は、何事も好奇心をもって行おうとする。興味・関心のあることについては、意欲的に取り組むものの、好き嫌いで物事を判断し、辛いことや苦しいことがあるとくじけてしまう傾向がある。 だからこそ、縁側を拭き続けた北里柴三郎の生き方から、やるべきことをしっかりと行うことは、自分自身を高めていく上で必要だと考える。また、やり遂げたときの喜びや充実感を味わうことで、児童がやるべきことに対して、主体的に取り組んでいこうとする心情を育むことが大切である。

本主題における系統

小学校第1学年及び第2学年
内容項目A(5)
(希望と勇気・努力と強い意志)
自分のやるべき勉強や仕事をしっかりと行うこと。

教材名「こぐまのらっぱ」
(出典:「あたらしい ひとつく1 東京書籍」)
教材名「さかあがり できたよ」
(出典:「あたらしい ひとつく2 東京書籍」)

小学校第3学年及び第4学年
内容項目A(5)
(希望と勇気・努力と強い意志)
自分でやろうと決めた目標に向かって、強い意志をもち、粘り強くやり抜くこと。

教材名「一りん車にのれた」
(出典:「新しい ひとつく3 東京書籍」)
教材名「やったぞ! 漢字テスト」
(出典:「新しい ひとつく4 東京書籍」)

小学校第5学年及び第6学年
内容項目A(5)
(希望と勇気・努力と強い意志)
より高い目標を立て、希望と勇気をもち、困難があってもくじけずに努力して物事をやり抜くこと。

教材名「ベートーベン」
(出典:「新しい道徳5 東京書籍」)
教材名「心をつなぐ音色」
(出典:「新しい道徳6 東京書籍」)

児童の実態 (児童の学習状況や実態と教師の願い)

本学級の児童数(名)

■主題に関する意識の状況 (令和〇年〇月〇日実施)

		とても	少し	あまり	ぜんぜん
1. やるべきことをしっかりと行うことは大切だと思いますか。そう考える理由は何ですか。					
理由:					
2. あなたは自分で決めて、頑張っていることがありますか。		ある		ない	
ある人	○頑張っていること:				
	○頑張っている理由:				
3. 自分で決めたことを途中でやめてしまったことはありますか。		ある		ない	
ある人	やめてしまった理由:				

■考察

教材の価値 (使用する教材の特質や具体的な活用方法)

教材「光るえんがわ」は、世界的に有名な医学者、北里柴三郎の10歳の頃の実話である。親戚の家に預けられることになった柴三郎が、おばさんから毎日縁側を拭くように言いつけられた。おばさんの妥協を許さないその徹底した指導のお陰で、自分から「縁側をもっと光るようにしたい」と考えるようになる。それ以来、進んで拭くようになり、縁側が光ってくる。自分の家に帰る日の朝、ぴかぴかに光った縁側をじっと見つめる柴三郎の姿があったという話である。おばさんから拭き直しを言われたときの柴三郎の心の葛藤や、進んで拭くようになるまでの柴三郎の思いについてしっかり考えさせることで、多少辛いことやきついことがあっても頑張ってみようという思いを高めることのできる教材である。

本教材を活用した授業においては、縁側の拭き直しを言われたときの気持ちと二年間拭き続けた縁側を眺める柴三郎の気持ちを考えることを通して、自分のやるべきことをしっかりと行おうとする心情を育てたい。

3 指導に当たっての留意点

【導入・終末の工夫】

- 導入では、主題につながる児童の身近な日常の場面を設定し、その時自分はどんな気持ちになるかを問い、家族などに言われて素直に受け入れられない気持ちがあることに気付かせる。
- 縁側など、児童に分かりにくい言葉は、画像を使い説明をする。
- 終末で、北里柴三郎の業績(医者としてたくさんの方の命を救っていることや千円札の肖像画になっていること等)を伝え、自分で決めたことをしっかりと行うよさを実感できるようにする。

【指導方法の工夫】

- 教師がぞうきんで挿絵を拭くしぐさをするので、場面を理解する手助けとする。
- 交流場面では、ワークシートを読み合い、同じ意見や気付かなかった意見にはシールを貼り、活発な交流につなげる。
- おばさんから注意された場面や光る縁側をじっと眺めている場面では、北里柴三郎になりきるために役割演技を取り入れる。

【板書の工夫】

- ハート図を活用し、2つの心を対比して板書することで、その違いに着目させ、考えを深めることができるようにする。

4 本時の学習

(1) ねらい

北里柴三郎が拭き続けた縁側を見つめながらどんなことを考えていたのか話し合うことを通して、自分のやるべき勉強や仕事をしっかりと行おうとする心情を養う。

(2) 展開

過程	時間	学習活動 (◇予想される児童の発言)	指導上の留意事項 (学習活動の目的・意図、内容、方法等)
導入	5分	<p>1 本時の学習課題をつかむ。</p> <p>①自分だったらどうするか、どんな気持ちになるかを考える。</p> <div style="border: 1px solid black; padding: 5px;"> <p>(例)おやつを食べたらお皿とコップを洗うように言われています。早く遊びに行きたいのでさっさと洗って玄関を出ようとするので家族から「もう一度やり直し」と声をかけられました。みんなだったらどうしますか。また、どんな気持ちになりますか。</p> </div> <p>◇いやだな。ちゃんと洗ったのに。 ◇お母さんが洗ってよ。 ◇遊びから帰ってきてから洗う。</p>	<p>○主題につながる児童に身近な日常の場面を設定し、その時どんな気持ちになるかを問うことで、自分たちの生活と重ねさせ、誰にでも心の葛藤があることに気付くことができるようにする。</p>
展開	30分	<p>2 教材を読み、道徳的価値について考える。</p> <p>①お話を聞いて、心に残ったことやみんなで考えたいことはありませんか。</p> <p>◇ずっとピカピカになるまで磨くなんてすごいな。手が真っ赤になっているよ。 ◇自分だったらやりたくないな。</p> <div style="border: 1px solid black; padding: 5px; text-align: center;"> <p>【学習課題】 やるべきことをしっかりと行うよさって何だろう。</p> </div> <p>②おばさんから「もう一どふいておくれ。」と言われた時、柴三郎はどんな気持ちだったでしょう。</p> <p>◇拭いたのに、何でもう一度拭かなければならないの。 ◇自分と同じ。柴三郎も嫌な気持ちになったと思う。</p> <div style="border: 1px solid black; padding: 5px; text-align: center;"> <p>【中心発問】</p> </div> <p>③2年間拭き続けた柴三郎は、光る縁側をじっと見つめながら、どんなことを考えていたでしょう。(ペアトーク→全体)</p> <p>◇ピカピカになって、うれしいな。いい気持ち。 ◇僕、頑張ったな。自分ってすごいな。 ◇みんなが喜んでくれるだろうな。 ◇頑張ってよかった。また拭きたいな。 ◇おばさん、拭き方を教えてくれてありがとう。</p> <p>④やるべきことをしっかりと行うよさって何だろう。</p> <p>◇自分やみんながよい気持ちになる。 ◇自分のよいところに気付ける。 ◇みんなが喜んでくれる。 ◇自分ができるようになると、どんどん楽しくなる。</p>	<p>○「自分と柴三郎の同じところや違うところはどこか考えながら聞こう。」等、聞く視点を示す。</p> <p>○感想を交流することで、教材の内容を確認したり、問題意識を持たせたりする。 (ペアトーク)</p> <p>○役割演技を取り入れ、「拭いたのに…」の後に続く言葉を言わせる。</p> <p>○問い返ししながら、柴三郎の心の葛藤と導入で尋ねた自分の気持ちとを重ねながら考えられるようにする。</p> <p>○交流場面では、ワークシートを読み合い、同じ意見や気付かなかった意見にはシールを貼り、活発な交流につなげる。</p> <p>○児童が発表する際は、電子黒板に映した光る縁側の画像を見つめさせながら、発言させる。(役割演技)</p> <p>○ハート図を活用して児童の意見を整理し、「やりたくない心」と「しっかり頑張る心」の2つの心を対比して板書することで、粘り強く諦めず取り組むために大切な道徳的価値に気付くことができるようにする。</p>
終末	10分	<p>3 自分自身を振り返る。</p> <p>①みんなは、柴三郎のように頑張っていることはありますか。「今までの自分」「今日勉強して思ったこと」「これからやりたいこと」を書きましょう。</p> <p>◇自分の頑張っていることは宿題。勉強が分かるようになりたいから続けたい。 ◇私は、ダンスを頑張っている。とっても楽しいので、練習してもっと上手になりたい。</p> <p>②北里柴三郎について知る。</p> <p>◇お札になった人なんだ。初めて知った。 ◇たくさんの人の命を救って、すごいな。</p>	<p>○「今までの自分」「今日勉強して思ったこと」「これからやりたいこと」等の視点を示し、自分自身を振り返ることができるようにする。</p> <p>○北里柴三郎のその後の活躍を紹介することで、価値の自覚を高められるようにする。</p>

【評価の視点1】 縁側でじっと見つめている北里柴三郎の気持ちを多面的・多角的に考えている。(方法：発言・ワークシート)

【評価の視点2】 北里柴三郎の生き方を自分自身と重ねながら、やるべきことをしっかりと行うことの大切さについて考えている。

(方法：発言・ワークシート)

【板書計画】

光るえんがわ やるべきことをしっかりと行うよさは何だろう。



しばさぶろう

〈かんそう〉

- ピカピカになるまでみがくんですけどすごいな。
- 手が真っ赤になっているよ。

ふいたのに

もう1ど



〈じぶん〉

- ・いやだ
- ・めんどろ
- ・あそんだ後に

〈しばさぶろう〉

- ・どうしてふかなければいけないの。



じっとながめていた



・ピカピカになって、うれしい。

・ぼく、がんばったな。

・自分ってすごいな。

・みんながよろこんでくれるだろう。

・がんばってよかった。

・またふきたいな。

・おばさん、ありがとう。



北里しばさぶろう

- ・くまもとのあそしゅっしん
- ・いしや
- ・ちりょう方ほうをはっけん
- ・新千円さつ

自分やみんながよい気持ち
自分のよいところに気づける
みんながよろこぶ
自分ができるところ
自分で楽しくなる

【ICT活用計画】

例：教師による教材提示の計画，ICTを活用した発表，まとめ等による考えの共有の計画等

- ・教材提示を電子黒板で行う。
- ・縁側の説明や北里柴三郎の説明をスライドで行う。

光るえんがわ

2年（ ）

しばさぶろうは光るえんがわをじっと見つめながら
どんなことを考えていたでしょう。



【聞き方名人】

どうして？なぜ？

くわしく教えて

そんな気持ちにな
ったことあった？

同じ考え（青）

気がつかなかった考え（赤）

自分をふりかえってみよう（今まで・今日勉強^{べんきょう}して・これから）